

## 会 議 要 旨

会議の名称	令和元年度第1回川越市農政モニターハイブリッド会議
開催日時	令和元年7月1日(月) 午後2時00分 開会 ・ 午後3時40分 閉会
開催場所	本庁舎3階 3A会議室
座長	村川 はつ枝
出席者	川越市農政モニター(7名) 農業者 大河内基行、塩野富雄 商業者 村川はつ枝、長井良憲 消費者 太田直敬、及川一廣、正木一弘 事務局 小野寺課長、矢野副課長、小川主幹、関口主事
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1) 川越の地域資源について (2) 川越市農業振興計画(2019-2027年度)について 4 その他 5 閉会
配布資料	1 会議次第 2 資料1(川越の地域資源について) 3 参考資料 平成30年度農政モニターハイブリッド会議で出た主な意見 4 冊子 川越市農業振興計画 5 川越市場パンフレット・生鮮漁港川越のチラシ

議事の経過					
1 開会					
2 あいさつ（小野寺課長）					
3 議題					
(1) 川越の地域資源について					
事務局より議題について説明し、委員より質問・意見をいただいた。					
【主な意見】					
・武藏野の落ち葉堆肥農法は話題づくりとしてはよいが、費用対効果を考えるとプロの農家が実践するのは難しい。有機農業に興味がある人にはよいが、一般的な観光客の興味を引くのは難しい。					
・一般的な農業体験といえば田植えと稲刈りのみだが、種をまいて苗を作るところから、稲を刈った後のもみを脱穀して調整してお米にするところまでを見てもらったり、少し体験してもらったりするはどうか。					
・川越の郷土料理づくりを行うならば、材料を川越産にすべき。さらに、その材料が栽培されているほ場を見学できると面白い。					
・川越は北部の水田地帯から南部の畠畠地帯まで、広い範囲で様々な作物がとれる。一つのものに限定するのではなく、芋掘りなど有名なものもあるし、一つ一つ何ができるか考え、その中から選択していくのも方法だと思う。					
・川越らしいものとして、市民や芸術系の人と協力してみんなで作るとよい。あるいは、作ること自体を体験としてもよい。					
・市内のお寺と茶園でコラボレーションし、歴史を学びながらお茶をたてたり、川越のオリジナル料理を提供するのもよい。					
・日本の最大の輸出品はお茶。狭山茶は味がよいと定評があるので、観光客へSNS等を活用してアピールするとよい。					
・座禅体験などと組み合わせ、自転車で蔵のまちに行き来できると面白い。					
・農泊は受け入れてくれる農家を見つけることから始めるべきだ。数軒まとまった集落で、時期も含めて進めていくべきだ。					
・伊佐沼のハスはすごくきれいだ。午後になるとしぶむので、川越に宿泊してもらい、朝早くにバスで伊佐沼に来て見学してもらうのがよい。見た人は感動する。					
(2) 川越市農業振興計画（2019-2027年度）について					
事務局より川越市農業振興計画（2019-2027年）について説明し、委員より質問・意見をいただいた。					

### 【主な意見】

- ・体験農業の需要はあると感じる。やってみたいという方と手伝ってくださる方をマッチさせるシステムがあるとよい。
- ・「サツマイモを貯蔵できる設備を市で整えてもらえるとサツマイモ生産が増えるのではないか」という声を農家の方からも聞いている。
- ・花きの生産振興について取組内容⑯にもあるが、市で施策を考えて提案してもらえると花き生産者にとってもよい。
- ・農業はビジネスなので、「これは儲かりますよ」という提案や指導をすることは、農政課や農協の使命だと思う。
- ・「多様な担い手の確保」に関連して、近年のいちご農園等は高設なので車椅子の方も作業が可能だと思う。農業においても福祉の部分を増やしていくことも必要だと思う。
- ・市内の水田地帯では休耕田が多いので、市の負担で休耕田を借りてそこで農業体験ができるとよい。駐車場やトイレを農家で貸してもらえるとよい。

### 4 その他

(事務局より)

- ・参考資料として、昨年度の農政モニターミーティングで皆様に出していただいた意見をまとめた。前回の会議において、会議で出された意見をフィードバックしてほしいというご意見をいただいたので、参考としてほしい。今年度あと2回会議があるので、この他に意見があれば是非出していただきたい。
- ・机上に川越市場のチラシを配布した。その中に、4月11日にオープンした「生鮮漁港川越」のチラシが入っている。生鮮漁港川越は、本市場の水産卸会社が経営する、水産、青果、精肉など、様々な新鮮な食品が購入できる店舗である。100円の握りずしの販売やマグロの解体ショーの実施など独自の魅力もあるので、是非買い物に訪れてほしい。
- ・次回の農政モニターミーティングは10月頃を予定している。

### 5 閉会